



第6期恵庭市総合計画 市民まちづくりワークショップ 報告書

令和6年10月



市民協働・共生分野

10年後の恵庭市は

- ▶ **みんなの声が届いているまち**
 - ▶ **世界を見てつながりあうまち**
 - ▶ **コスモポリタンなまち**
 - ▶ **若い人も興味をもって参画できるまち**
- を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・ 市民と市が対話できる場づくり
- ・ 地域で顔のわかる関係を作り、人と人が繋がり、挨拶をする
- ・ さまざまな立場の人が参加しやすいコミュニティづくりを進め、高齢者、親世代、若者、子世代をつなげる地域づくり
- ・ 多様な人たちとつながる機会を創出し、異なることを理解し合う
- ・ 外国人を歓迎する心と異文化交流のための場の創出、多言語、多文化対応とともに恵庭から世界で活躍する人の輩出
- ・ アイヌ民族や外国人との共生、ジェンダーやLGBTQなどへの理解
- ・ さまざまな活動への積極的な参加

などに取り組むことが重要です。

生活環境分野

10年後の恵庭市は

- ▶ 「でも恵庭ってさ～・・・」がないまち
- ▶ 住みたいまちNo.1
- ▶ 環境にやさしいまち
- ▶ AI交通システムのあるまち
- ▶ 近隣と力を合わせた防災に強いまち
- ▶ ゴミの行方を考えるキレイなまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・一人で頑張らなくても良い、地域を豊かにする環境づくり
- ・一人ひとりが防災の意識を持ち、協力し合える環境づくり
- ・ゼロカーボンシティの実現を目指し、環境について学ぶ機会を創出する
- ・市民が外出しやすい環境を作るため、AIを利用した利便性の高い地域交通の整備
- ・市民が安全で安心して生活できるよう、近隣のまちと連携した防災体制の構築
- ・ライフステージに合わせた住み方ができる、流動性を持ったまちづくり
- ・ごみや食品ロスの削減を目指し、“もったいないを大切に”する意識の醸成

などに取り組むことが重要です。

子育て・教育分野

10年後の恵庭市は

- ▶ いろいろな考え方を「ゆるい」繋がりで見守り適度にサポートしてくれるまち
- ▶ 地域に考える力を育てる人がたくさんいるまち
- ▶ 自由な子育て、教育ができるまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

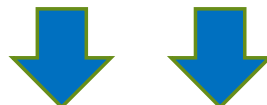
- ・ こどもたちが自ら遊び、自ら学び多くの体験をすること、型にはまらない考え方を身につける、またそれを後押しする
- ・ 地域でこどもを育てる意識を持つ
- ・ 大人も学び続け、行動し続ける
- ・ 不登校や経済的に困窮、悩みを抱えている児童・生徒・家庭を支援するための“居場所”、“相談体制”をつくる
- ・ 保護者への家庭教育支援
- ・ 地域、市民（団体）主体の活動への協力・支援
- ・ こどもから高齢者まで全世代が集まれる施設、遊び場の整備
- ・ 本とふれあう機会の創出

などに取り組むことが重要です。

保健・医療・福祉・スポーツ分野

10年後の恵庭市は

- ▶ **すでにみんなが生き生き元気なまち**
- ▶ **人のぬくもりを感じるまち**
- ▶ **近隣のまちと共同で医療・スポーツの充実したサービスが受けられるまち**
- ▶ **いくつになっても健康でいられるまち** を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

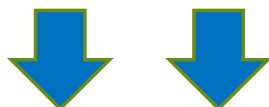
- ・ 医療、福祉従事者を育成し、安定した受け入れ体制を整える
- ・ 医療、介護、福祉分野等が連携する体制づくり
- ・ 医療体制、医療機能が充実し、安心して生活できる環境づくり
- ・ 福祉を学ぶ場所、認知症などへの関わり方を知る場をつくり、正しく学び、理解に努め、困っている人に声をかける
- ・ 障がい・介護を支えている家族が集まれる場所をつくり、孤独感やストレスを抱えないよう支援する
- ・ 福祉相談機関の一元化による重層的な支援
- ・ 誰もがスポーツをする機会を平等に得られ、またスポーツ活動ができる場を整備する
- ・ 健康増進のためにスポーツをする
- ・ 健診、検診を積極的に受診し、自ら健康管理に努める
- ・ 子連れでも受診しやすい環境の整備や子と親がセットで検診を受けられる機会など幅広い受診機会の創出

などに取り組むことが重要です。

産業・観光・まちづくり分野

10年後の恵庭市は

- ▶ 産業と観光で人がたくさん集まるまち
 - ▶ これからも自然環境を生かし、自然に触れながら仕事もできるまち
 - ▶ 住民と自然を理解した企業の誘致
 - ▶ スポーツ・農で観光するまち
- を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・ ITベンチャー企業をはじめとした企業・商業施設誘致を進め、波及効果によるまちの賑わいづくり
- ・ 人が集い、市民も楽しめる場所づくり
- ・ はなふるを拠点とした観光の推進
- ・ 駅周辺の賑わいづくり
- ・ 環境を生かした冬季スポーツができるまち
- ・ 地産地消、飲食店等で恵庭産農畜産物を使用することによる地場産品PR
- ・ 市民と市役所職員が一市民として集い、しゃべれる場づくり
- ・ 情報発信等により、市外の人に恵庭の魅力を知ってもらう

などに取り組むことが重要です。

第6期恵庭市総合計画 第1回市民まちづくりワークショップ

日時：令和6年8月1日（木）18：30～20：30

場所：恵庭市民会館 中会議室

『あなたが思う恵庭らしさとはどんなところ？』『恵庭らしさをふまえて、10年後はどんなまちになっていてほしい？』をテーマとし、3グループに分かれて、ワークショップを行いました。16名のワークショップ委員の皆様にご参加いただきました。



主催者あいさつ



総合計画についての説明



名札作成

Aグループ ワークショップの様子



自己紹介



話し合い



話し合い



発表



話し合い

[illegible]

- 3

Bグループ ワークショップの様子



名札作成



自己紹介



話し合い



話し合い



発表

Bグループ まとめ



- ・ ほどよい自然やほどよい田舎
- ・ 交通の便が良いが、市内は不便という気づきがあった
- ・ 本のまちというけれど、本屋がなくなった
- ・ 働ける場所が少ない、お店が少ない、アピールが弱い、名物の食べ物がないというところで、今後10年で何ができるかを考えると、自然を残したまま、子どもたちが働けて住めて、賃貸型の一戸建てが増えればよい
- ・ 恵庭の野菜を使って地産地消のレストランはどうか
- ・ 子どもたちがのびのび遊べる環境、スケートボードは現在怒られてしまう
- ・ 雇用の場、若者がたむろして遊べる、古着屋・服屋があるとまちの若返り、人口増につながるのではないか
- ・ 地区ごとに特色あるイベントはあるが、スポーツのイベントがない
- ・ 市民運動会、マラソン大会、駅伝等、何をするにもアピール力を高める など

Cグループ ワークショップの様子



名札作成



自己紹介



話し合い

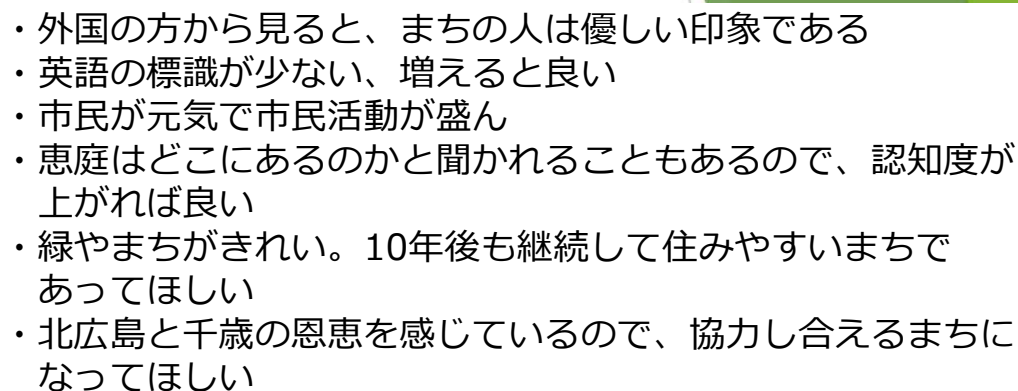


話し合い



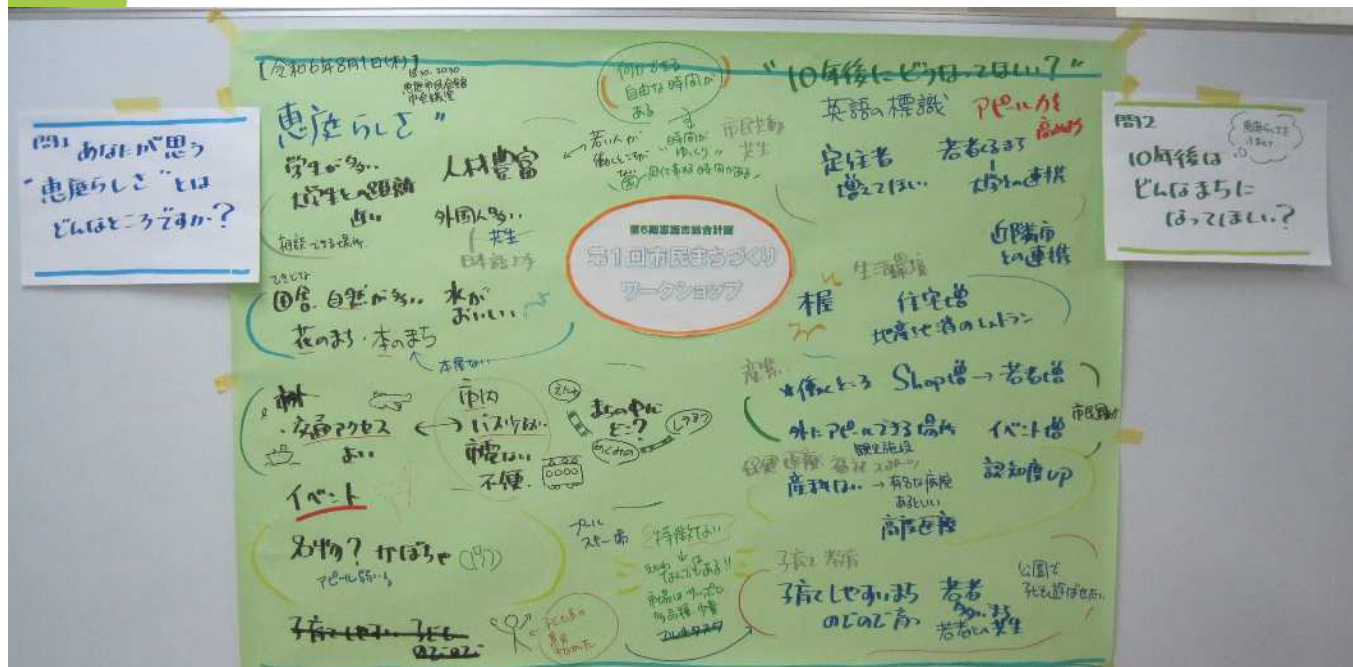
発表

①



- ・障がいがあってもなくても働ける場所がたくさんあれば良い
- ・工場や道の駅の充実
- ・こどもが大人になっても住みたいと思えるまちが良い
- ・こどもがたくさんいたら良いということに合わせて、こどもの未来を守ったりするため、これから10年が大事 など

全体 まとめ



『あなたが思う恵庭らしさとはどんなところ?』

『恵庭らしさをふまえて、10年後はどんなまちになってほしい?』について、様々なご意見をいただきました。

- ・恵庭らしさとしては、専門学校も大学も学生が多いまち
- ・外国人はたしかに多くなっている、共生はこれからの課題
- ・若い人たちとの距離が近く、人材もいるが、若い人にとって相談できる場所は意外とない
- ・ほどよい田舎というところはこれからも守っていききたいし、現状もいいところである
- ・花のまち、本のまちと言われているが、本屋がない
- ・イベントに関してはたくさんあるが、アピール力が弱い
- ・交通アクセスとして、札幌や空港に対しては良いが、市内は弱く、改善していく必要がある
- ・共生について、英語の標識、定住者、近隣市との連携
- ・最近、近隣市の状況はガラッと変わってきている
- ・婦人科はあるが、産科がないというのは課題
- ・住みやすいまちとして子育てしやすいまち、のびのびできる場所、若者の居場所 など

第6期恵庭市総合計画 第2回市民まちづくりワークショップ

日時：令和6年8月21日（水）18：30～20：30

場所：恵庭市民会館 大会議室

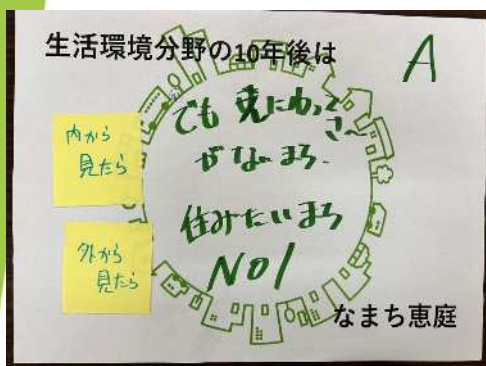
『各分野で「10年後は〇〇なまち恵庭」というキャッチフレーズをつけるなら？
それに対するアプローチは？』をテーマとし、3グループに分かれて、ワークショップを行いました。
12名のワークショップ委員の皆様にご参加いただきました。



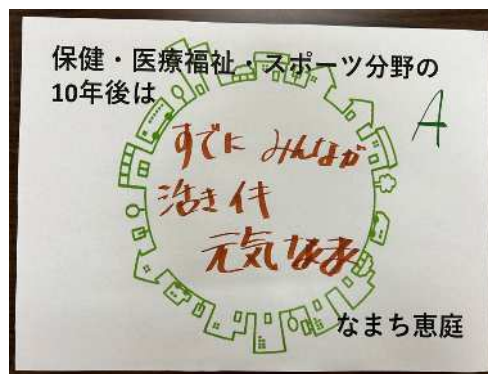
Aグループ



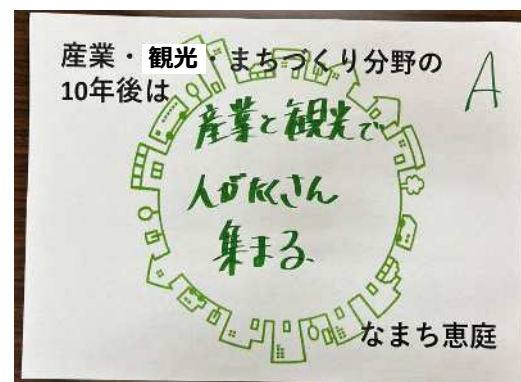
キャッチコピー
①市民協働・共生



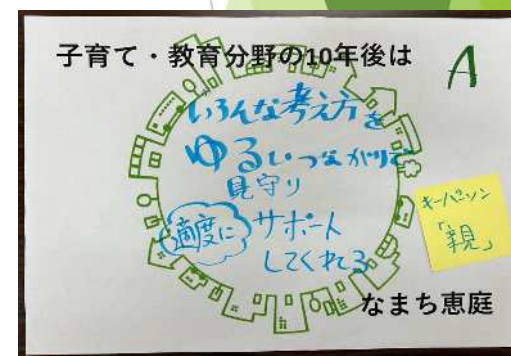
②生活環境



③保健・医療・福祉・スポーツ

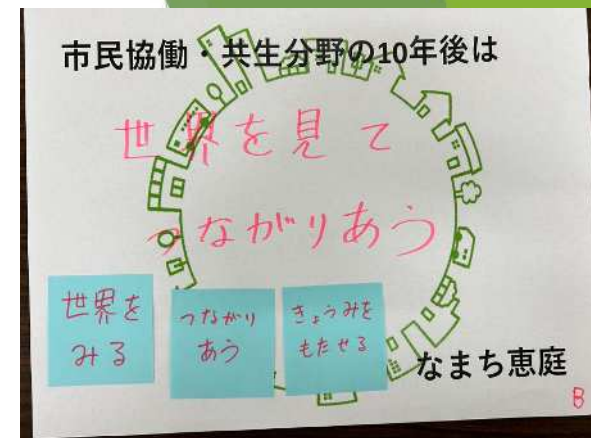


④産業・観光・まちづくり

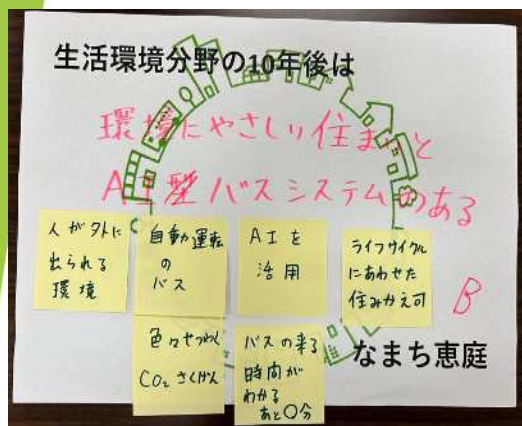


⑤子育て・教育

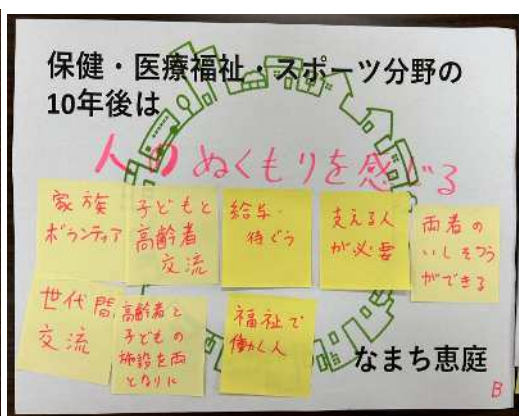
Bグループ



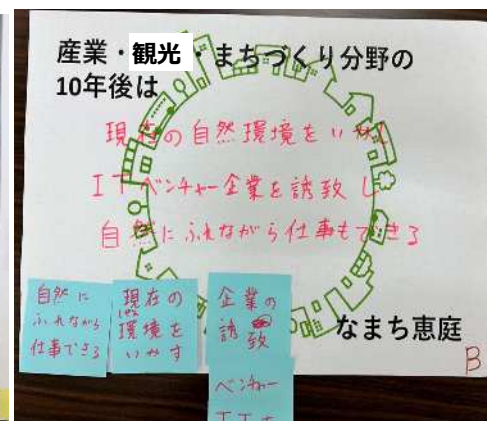
キャッチコピー
①市民協働・共生



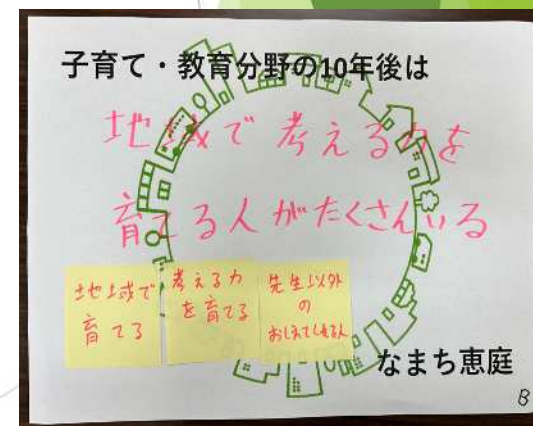
②生活環境



③保健・医療・福祉・スポーツ

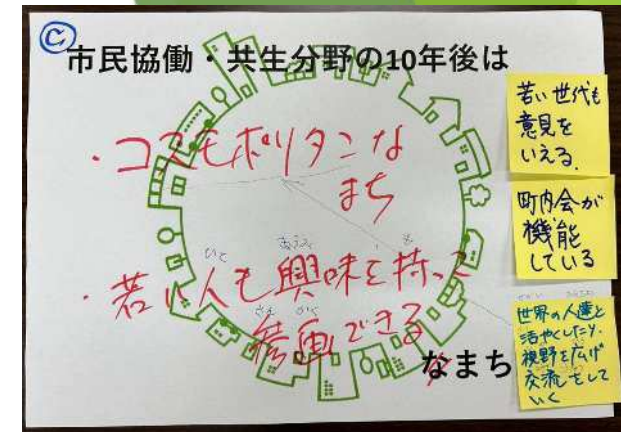


④産業・観光・まちづくり

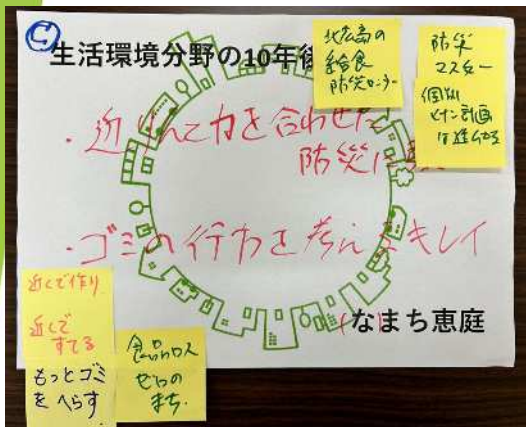


⑤子育て・教育

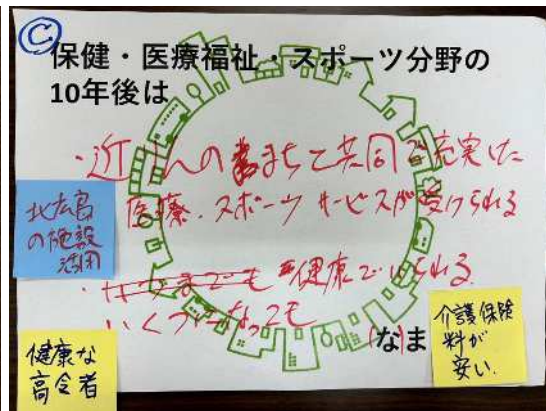
Cグループ



キャッチコピー
①市民協働・共生



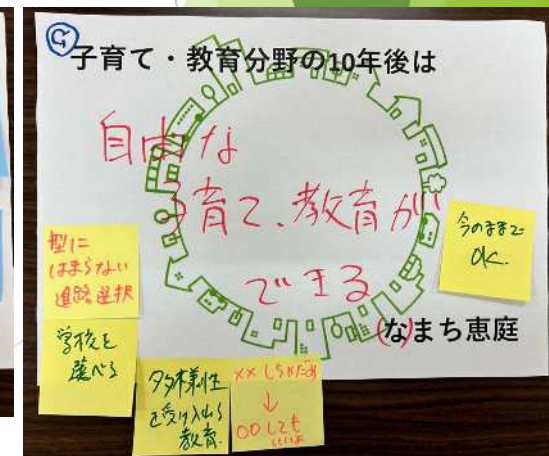
②生活環境



③保健・医療・福祉・スポーツ



④産業・観光・まちづくり



⑤子育て・教育 4

まとめ

『各分野で「10年後は〇〇なまち恵庭」
というキャッチフレーズをつけるなら？
それに対するアプローチは？』について、
ご意見をいただきました。

- ・一人でがんばらなくても良い。
地域を豊かに
- ・ライフスタイルに合わせて住み替えが
出来るまち。外に出られるまち
- ・災害に強いまち
- ・関心を持つ、まちにお金が残ると良い
- ・子育てにおいては、型にはまらない、
ジェンダーの価値観が大切
- ・地域で力を育てるまち、学生ボランティア、
遊ぶ・学ぶ・体験等
- ・市民協働、共生においては、議員さんや
市に声が届く
- ・高齢者の見守り、外国の方との意見交換
- ・若い人たちが世界を見る
- ・産業・観光については、ベンチャー企業を
誘致
- ・イベントでまちを盛り上げたい

など





第6期恵庭市総合計画 第3回市民まちづくりワークショップ

日時：令和6年9月10日（火）18：30～20：30

場所：恵庭市民会館 大会議室

「10年後のまちにむけて私達ができることは？また、それを持続可能にするには？」をテーマとし、これまでのワークショップに出ていない意見はないか、各分野のテーブルを自由に回り、ワークショップを行いました。14名のワークショップ委員の皆様にご参加いただきました。



令和6年9月5日（木）に開催した
総合計画シンポジウムの報告



これまでのワークショップの振り返り

①市民協働・共生



自分が重要だと思う分野順に
テーブルを回ります。

- ①市民協働・共生
- ②生活環境
- ③保健・医療・福祉・スポーツ
- ④産業・観光・まちづくり
- ⑤子育て・教育
- ⑥その他



テーブルの移動はいつでもOK
移動はしてもしなくてもOK
すべての分野を回らなくてもOK

①市民協働・共生 まとめ



自分が重要だと思う分野順に
①②③④⑤シールを貼ります。
(⑥その他を除く)

①市民協働・共生は

①②③④⑤

3 3 5 1 0 人でした。

- ・多文化共生、町内会、協働関係、今までに出ていないような意見の大きく4つに分類
- ・働きに来る外国人が増えている、歓迎する心と異文化交流が大事
- ・外国人に選ばれていくまちなになっていくことが大事なので交流の場をつくる、子どもも増えてくるといことも考えられるので教育機関の多文化対応
- ・町内会では居場所づくり、これからの町内会、持続可能にしていくためには若い人を増やす
- ・学生の方に町内会の役員になっていただく
と持続可能になっていく
- ・先住民アイヌとの共生
- ・ジェンダー、LGBTへの理解
- ・メタバース、VR、市のSNSの活用 など

②生活環境



②生活環境 まとめ

- ・10年後はきっとゼロカーボンが進んでいる。それには、市、まちレベルで緩く市民に問いかけながら取組を進めると良いと思う
- ・恵庭のごみ処理は一人当たり年間17,000円かかっている。分別で経費削減した分を教育、福祉など、重要なところに予算を回して、厚くできるのではないかな
- ・挨拶ただけで不審者になる。改善されて挨拶ができる仲になったり、人とつながりを大切にできたらよい
- ・防災は、他市の真似ではない活動をしたほうが良いという話もあったが、他市から学ぶこともある
- ・若者の居場所としてイベントができるような空間、楽しく過ごせるような空間があったらよい など

②生活環境は

①②③④⑤

2 5 1 0 2 人でした。



③保健・医療・福祉・スポーツ



③保健・医療・福祉・スポーツ まとめ



- ・医療・福祉の分野のつながりを共有していききたい。病院の中身を充実させたい
- ・福祉を学ぶ場所、関わり方を知る場所がもっと増えると良い。障がいのある人はどう声をかけてもらったら助かるか、認知症はどういうものなのかを気軽に学べる場所があると、困っている人に気軽に声をかけられる
- ・障がい、介護、など一元的に相談できるところがあるといい
- ・合宿・スポーツができる建物があると良い
- ・スポーツクラブや少年団に参加できる子とできない子がいるため、較差をどうにかして解消できないか
- ・検診の受診率を上げるために、検診センターにラウンジのような空間をつくる、検診込みのバスツアーや託児付きの検診のアイデア など

③保健・医療・福祉・スポーツは



3 2 2 2 2 人でした。

④産業・観光・まちづくり



④産業・観光・まちづくり まとめ



- ・はなふるの存続、企業の誘致
- ・住んでいる人たちも恵庭市内で
楽しめるところがほしい
- ・気軽に集える場所
- ・恵庭の水が美味しいので、どこでも
飲めるような、ボトルを差し出した
ら水が出るようなウォーター
プレイスがほしい
- ・高齢者から子どもまで移動ができる
ことを考えると、無人の循環バス
- ・LINEでアンケートを取る等、
発信の場が必要で、声を出してもら
うにはどうしたらいいかということ
も今後考えていかなければならない
- ・食事をしながら、市民として
自然と意見交換できる役所居酒屋
- ・キャラクタービジネス など

④産業・観光・まちづくりは



3 3 1 4 1 人でした。

⑤子育て・教育



⑤子育て・教育 まとめ



- ・できるだけ禁止事項を少なくした、主体的なプレーパークの運営
- ・不登校の親の会等、学校と地域の連携といったところで相談するところがたくさんあると良い。休日相談してくれるところがあると良い
- ・不登校の子どもの居場所づくりや学ぶ場所をつくっていきたい、もしくは複合施設のような形で、子どもや高齢者が交流できるような形になっていくと良い。持続可能なまちづくりにもつながる
- ・高校3年生はもう既に有権者なので、主権者教育が必要ではないか
- ・教育は子どもに対する教育だけではなく、大人に対する教育、生涯学習のようなことも教育の分野
- ・気軽に受けられる大学講座や市民講座があると良い
- ・子どもの幸せを一番に考えるというところがみんなの幸せにつながっていくのではないかなど

⑤子育て・教育は

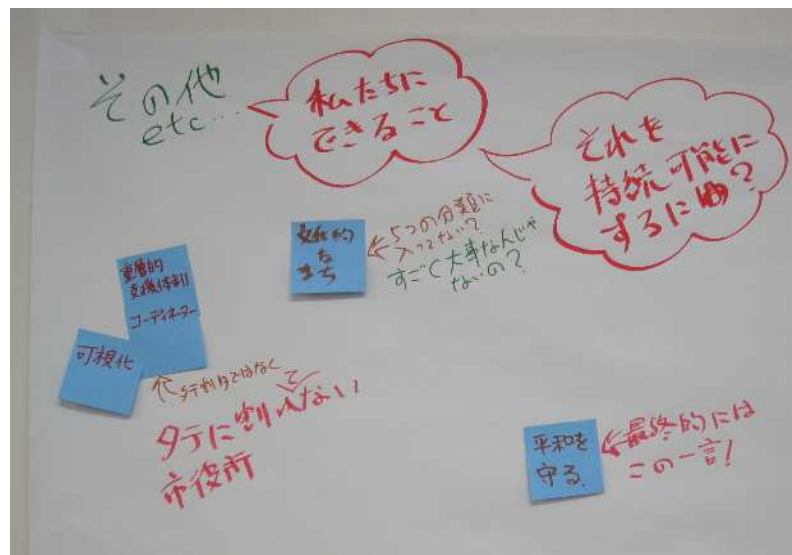
3 1 5 3 1 人でした。

⑥その他



- ・コーディネーターは様々な部署で配置しているが、教育なら教育のコーディネーター、健康・福祉なら健康・福祉のコーディネーターと、縦で分かれているため、横にうまくつなげる、または重層的に取り組めるコーディネーターが必要
- ・それぞれの項目の中に、言葉ではなくても文化的な要素が入っているのかもしれない。文化という項目があっても良い
- ・結局、市民の恵庭らしさは文化が形になったものなので、それが恵庭市民らしさ、北広島市民らしさ、千歳市民らしさに表れているので、基本として大事にしなければならない
- ・最終的には一言で、平和を守る、という意見があった など

⑥その他 まとめ



第6期恵庭市総合計画 第4回市民まちづくりワークショップ

日時：令和6年9月30日（月）18：30～20：30

場所：恵庭市民会館 大会議室

これまでのワークショップの意見をまとめた報告書の確認を行いました。
報告書は分野ごとに「10年後の恵庭市は〇〇を目指していくことが重要 そのためにわたしたち（市民・行政）は〇〇に取り組むことが重要」をまとめたものです。最後に、ファシリテーターを含む参加者全員で、ワークショップの感想の共有を行いました。
10名のワークショップ委員の皆様にご参加いただきました。



報告書の内容確認 ①市民協働・共生

- ・「違っている人たち」という表現ではなく、「多様性」などの言い方が良いのではないか
- ・町内会に縛られない広いつながり、コミュニティ
- ・さまざまな活動への積極的な参加とあるが、具体的な検討・施策を考える。市民という主語がつく、市民の行動の指針にもなるものである



【確認前】

【確認後】

10年後の恵庭市は

- ▶ **みんなの声が届いているまち**
- ▶ **世界を見てつながりあうまち**
- ▶ **コスモポリタンなまち**
- ▶ **若い人も興味をもって参画できるまち** を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・市民と市が対話できる場づくり
 - ・地域で顔のわかる関係を作り、人と人が繋がり、挨拶をする
 - ・さまざまな立場の人が参加しやすい町内会化を進め、高齢者、親世代、子世代をつなげる地域づくり
 - ・違っている人たちとつながる機会を創出し、異なることを理解し合う
 - ・外国人を歓迎する心と異文化交流のための場の創出、教育機関の多言語、多文化対応とともに恵庭から世界で活躍する人の排出
 - ・アイヌ民族や外国人との共生、ジェンダーやLGBTQなどへの理解
 - ・さまざまな活動への積極的な参加
- などに取り組むことが重要です。

10年後の恵庭市は

- ▶ **みんなの声が届いているまち**
- ▶ **世界を見てつながりあうまち**
- ▶ **コスモポリタンなまち**
- ▶ **若い人も興味をもって参画できるまち** を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・市民と市が対話できる場づくり
 - ・地域で顔のわかる関係を作り、人と人が繋がり、挨拶をする
 - ・さまざまな立場の人が参加しやすいコミュニティづくりを進め、高齢者、親世代、若者、子世代をつなげる地域づくり
 - ・多様な人たちとつながる機会を創出し、異なることを理解し合う
 - ・外国人を歓迎する心と異文化交流のための場の創出、多言語、多文化対応とともに恵庭から世界で活躍する人の輩出
 - ・アイヌ民族や外国人との共生、ジェンダーやLGBTQなどへの理解
 - ・さまざまな活動への積極的な参加
- などに取り組むことが重要です。

報告書の内容確認 ②生活環境

- ・人が外に出やすい環境をつくる→市民が外出しやすい環境をつくる
- ・ライフサイクルに合わせて住み替えが出来る→このフレーズに初めて触れる人にとっては、そこまで明確なイメージができないのではないか、ライフステージに合わせた住環境という言い方がしっくりくると思う
- ・「バスシステム」は公共に限らず、もっと広域な意味で「交通システム」としてはどうか

【確認前】

10年後の恵庭市は

- ▶ 「でも恵庭ってさ〜」がないまち
- ▶ 住みたいまちNo.1
- ▶ 環境にやさしい住まいとAIバスシステムのあるまち
- ▶ 近隣と力を合わせた防災に強いまち
- ▶ ゴミの行方を考えるキレイなまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・一人で頑張らなくても良い、地域を豊かにする環境づくり
 - ・一人ひとりが防災の意識を持ち、協力し合える環境づくり
 - ・ゼロカーボンシティの実現を目指し、環境について学ぶ機会を創出する
 - ・人が外に出やすい環境を作るため、AIを利用した利便性の高い地域公共交通の整備
 - ・市民が安全で安心して生活できるよう、近隣のまちと連携した防災体制の構築
 - ・ライフサイクルに合わせて住み替えが出来る、流動性を持ったまちづくり
 - ・ごみや食品ロスを目指し、“もったいないを大切に”する意識の醸成
- などに取り組むことが重要です。



【確認後】

10年後の恵庭市は

- ▶ 「でも恵庭ってさ〜」がないまち
- ▶ 住みたいまちNo.1
- ▶ 環境にやさしいまち
- ▶ AI交通システムのあるまち
- ▶ 近隣と力を合わせた防災に強いまち
- ▶ ゴミの行方を考えるキレイなまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・一人で頑張らなくても良い、地域を豊かにする環境づくり
 - ・一人ひとりが防災の意識を持ち、協力し合える環境づくり
 - ・ゼロカーボンシティの実現を目指し、環境について学ぶ機会を創出する
 - ・市民が外に出やすい環境を作るため、AIを利用した利便性の高い地域交通の整備
 - ・市民が安全で安心して生活できるよう、近隣のまちと連携した防災体制の構築
 - ・ライフステージに合わせた住み方ができる、流動性を持ったまちづくり
 - ・ごみや食品ロスの削減を目指し、“もったいないを大切に”する意識の醸成
- などに取り組むことが重要です。

報告書の内容確認 ③子育て・教育

- ・地域「で」考える力を育てる人がたくさんいるまち→
地域「に」考える力を育てる人がたくさんいるまち
としてはどうか

【確認前】

10年後の恵庭市は

- ▶ いろいろな考え方を「ゆるい」繋がりで見守り適度にサポートしてくれるまち
- ▶ 地域で考える力を育てる人がたくさんいるまち
- ▶ 自由な子育て、教育ができるまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・子どもたちが自ら遊び、自ら学び多くの体験をすること、型にはまらない考え方を身につける、またそれを後押しする
- ・地域で子どもを育てる意識を持つ
- ・大人も学び続け、行動し続ける
- ・不登校や経済的に困窮、悩みを抱えている児童・生徒・家庭を支援するための“居場所”、“相談体制”をつくる
- ・保護者への家庭教育支援
- ・地域、市民（団体）主体の活動への協力・支援
- ・子どもから高齢者まで全世代が集まれる施設、遊び場の整備
- ・本とふれあう機会の創出

などに取り組むことが重要です。



【確認後】

10年後の恵庭市は

- ▶ いろいろな考え方を「ゆるい」繋がりで見守り適度にサポートしてくれるまち
- ▶ 地域に考える力を育てる人がたくさんいるまち
- ▶ 自由な子育て、教育ができるまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・子どもたちが自ら遊び、自ら学び多くの体験をすること、型にはまらない考え方を身につける、またそれを後押しする
- ・地域で子どもを育てる意識を持つ
- ・大人も学び続け、行動し続ける
- ・不登校や経済的に困窮、悩みを抱えている児童・生徒・家庭を支援するための“居場所”、“相談体制”をつくる
- ・保護者への家庭教育支援
- ・地域、市民（団体）主体の活動への協力・支援
- ・子どもから高齢者まで全世代が集まれる施設、遊び場の整備
- ・本とふれあう機会の創出

などに取り組むことが重要です。

報告書の内容確認 ④保健・医療・福祉・スポーツ

- ・スポーツサービスについては、千歳市民プールを恵庭市民でも市民料金で利用できるといった例がある
- ・「医療・スポーツの充実したサービスが受けられるまち」とすれば誤解なく伝わるのではないか



【確認前】

10年後の恵庭市は

- ▶ **すでにみんなが活き活き元気なまち**
- ▶ **人のぬくもりをかんじるまち**
- ▶ **近隣のまちと共同で充実した医療・スポーツサービスが受けられるまち**
- ▶ **いくつになっても健康でいられるまち** を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・医療、福祉従事者を育成し、安定した受け入れ体制を整える
- ・医療、介護、福祉分野等が連携する体制づくり
- ・医療体制、医療機能が充実し、安心して生活できる環境づくり
- ・福祉を学ぶ場所、認知症などへの関わり方を知る場をつくり、正しく学び、理解に努め、困っている人に声をかける
- ・障がい・介護を支えている家族が集まれる場所をつくり、孤独感やストレスを抱えないよう支援する
- ・福祉相談機関の一元化による重層的な支援
- ・誰もがスポーツをする機会を平等に得られ、またスポーツ活動が出来る場を整備する
- ・健康増進のためにスポーツをする
- ・健診、検診を積極的に受診し、自ら健康管理に努める
- ・子連れでも受診しやすい環境の整備や子と親がセットで検診を受けられる機会など幅広い受診機会の創出などに取り組むことが重要です。

【確認後】

10年後の恵庭市は

- ▶ **すでにみんなが活き活き元気なまち**
- ▶ **人のぬくもりを感じるまち**
- ▶ **近隣のまちと共同で医療・スポーツの充実したサービスが受けられるまち**
- ▶ **いくつになっても健康でいられるまち** を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・医療、福祉従事者を育成し、安定した受け入れ体制を整える
- ・医療、介護、福祉分野等が連携する体制づくり
- ・医療体制、医療機能が充実し、安心して生活できる環境づくり
- ・福祉を学ぶ場所、認知症などへの関わり方を知る場をつくり、正しく学び、理解に努め、困っている人に声をかける
- ・障がい・介護を支えている家族が集まれる場所をつくり、孤独感やストレスを抱えないよう支援する
- ・福祉相談機関の一元化による重層的な支援
- ・誰もがスポーツをする機会を平等に得られ、またスポーツ活動ができる場を整備する
- ・健康増進のためにスポーツをする
- ・健診、検診を積極的に受診し、自ら健康管理に努める
- ・子連れでも受診しやすい環境の整備や子と親がセットで検診を受けられる機会など幅広い受診機会の創出などに取り組むことが重要です。

報告書の内容確認 ⑤産業・観光・まちづくり

- ・現在の自然環境→現在という言葉はなくていいのではないか
「いままでも」「これからも」という言葉の方がいい
→これからも自然環境をいかし、自然に触れながら仕事もできるまち
- ・住民と自然を理解した企業の誘致
- ・市民と市役所職員が仕事を離れて一市民として集い、しゃべれる場（市役所居酒屋）づくり→市民と市役所職員が一市民としてしゃべれる場づくり
- ・市民が集え、市民が楽しめる場所づくりでは、市民に固定されている。
市民「も」としてはどうか →人が集い、市民も楽しめる場所づくり
- ・10年後にはスキーやスケート以外のスポーツも出てくるかもしれないので、
「環境を活かした冬季スポーツ」としてはどうか



【確認前】

10年後の恵庭市は

- ▶ 産業と観光で人がたくさん集まるまち
- ▶ 現在の自然環境をいかし、ITベンチャー企業を誘致し自然に触れながら仕事もできるまち
- ▶ スポーツ・農で観光するまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・ITベンチャー企業をはじめとした企業、商業施設誘致を進め、波及効果によるまちの賑わいづくり
- ・市民が集え、市民が楽しめる場所づくり
- ・はなふるを拠点とした観光の推進
- ・駅周辺の賑わいづくり
- ・スキーもスケートもできる環境を活かした冬季スポーツビギナーが集まるまち
- ・地産地消、飲食店等で恵庭産野菜を使用することによる地場産品PR
- ・市民と市役所職員が仕事を離れて一市民として集い、しゃべれる場（市役所居酒屋）づくり
- ・情報発信等により、市外の人に恵庭の魅力を知ってもらう

などに取り組むことが重要です。

10年後の恵庭市は

- ▶ 産業と観光で人がたくさん集まるまち
- ▶ これからも自然環境を生かし、自然に触れながら仕事もできるまち
- ▶ 住民と自然を理解した企業の誘致
- ▶ スポーツ・農で観光するまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち（市民・行政）は、

- ・ITベンチャー企業をはじめとした企業・商業施設誘致を進め、波及効果によるまちの賑わいづくり
- ・人が集い、市民も楽しめる場所づくり
- ・はなふるを拠点とした観光の推進
- ・駅周辺の賑わいづくり
- ・環境を生かした冬季スポーツができるまち
- ・地産地消、飲食店等で恵庭産農産物を使用することによる地場産品PR
- ・市民と市役所職員が一市民として集い、しゃべれる場づくり
- ・情報発信等により、市外の人に恵庭の魅力を知ってもらう

などに取り組むことが重要です。

感想の共有①

- これからも市のことについて、例えば議会傍聴等に関心を持っていきたい。本のまちづくり、環境に配慮したごみ処理場、日本全国に誇れるようなすばらしいまちだと思う。
- こういう活動が計画に伝わることを初めて知った。函館から来たので、恵庭のことを全く知らなかったが、恵庭の方とたくさん話して学ぶことができた。地域活性化というところ、地域とのふれあい、ここで学んだことを大学で生かしたい
- こんなに恵庭のことを真剣に考えてくれる方たちがたくさんいるので、10年後もっとすてきなまちにできたらと思う
- みんなで考えたらすごくいい案が出ると思った。どのように反映されるか楽しみ
- 考え方の違いの勉強になった
- 言葉や文章にすることの難しさを改めて感じた。恵庭市のことを考える人が増えるきっかけになってほしいと思った
- とても面白かった。考え方をぶつけ合っているものにしていけるのが民主主義の基本だと思う。興味も広がっていく。こういう機会が今後もあったら参加したい



感想の共有②

- ・アウトプットができたのがよかった。次何しようかなとか、次こういうことができそうだなという考えが生まれてくるのが面白いなと思いました
- ・いろんな人がいろんな考えを持っていることに興味した
- ・年齢を超えてもやっていることは一緒だし、関わっているその広さが違って、思っていること、やりたいことはやはり一緒なのだなというのを今日気づけたので、よかったなと思いました
- ・さまざまな年代の方がいろいろな分野でいろいろな意見を出して、こうやって恵庭市は進んでいっているのだなというのをすごく感じた
- ・皆さんの熱意をたくさん見て、私も何か考えようと思いました
- ・このような会議の形は意見を出す方法としてとてもいいと思うので、市役所でも広がっていけばいいと思う



市民まちづくりワークショップで検討を重ねた事項について、完成した報告書を市長に提出します。



R6.9.30撮影



市民まちづくりワークショップ委員（18名）

- | | |
|--------|---------------------|
| ・金子 徹志 | ・藤原 百合子 |
| ・前田 一哉 | ・杉本 貢 |
| ・石上 一美 | ・新保 佳代子 |
| ・高橋 隼 | ・ブランド リー サンチェス タンプス |
| ・芳賀 貢 | ・山本 亮太 |
| ・鳴海 幸恵 | ・阿部 梨子 |
| ・吉田 忠 | ・音島 純子 |
| ・奥澤 蘭 | ・松本 李奈 |
| ・成田 良恵 | ・勝又 みさ都 |
- （順不同・敬称略）